

<腰椎麻酔>成人鼠径ヘルニア根治術を受けられる方へ 手術日 月 日 患者様() 主治医() 担当看護師()

	入院前日		入院当日		手術～回復前		回復後期		
	月	日	月	日	術前★	当日	術後	術後1日	術後2日(退院)
達成目標	手術に向けた準備が出来る		朝から入院まで		精神的・身体的に安定した状態で手術に望むことができる。	術後	手術後の全身状態が安定し、歩行ができる。	手術後合併症が予防でき、必要時には適切な処置が受けられる。自分の身の回りのことができる。	
薬剤	夕食後に下剤を飲んで下さい		中止が必要な薬以外に内服薬のある方は通常通り朝内服して下さい		持参薬は確認しますので看護師にお渡しください	夕食後より鎮痛剤の内服が開始になります(3日間)。普段内服されている薬も再開してください。			鎮痛剤はなくなれば終了です。痛みが続くようであれば申し出てください。
注射					点滴を開始します。	手術室からの点滴は終了すれば抜去します。			
処置	手術する側の陰毛を1cm以下の長さにカットして下さい。カミソリは使用しないで下さい。				排便がなければ浣腸を行います。手術部位の切毛確認を行います。	手術創の処置をします。防水テープが貼られます。		9時から廻診があります。	
安静度						麻酔が覚めれば歩行可能です。最初の歩行は看護師が付き添いますので、トイレに行きたくなればお知らせ下さい。		制限はありません。	
食事/水分	食事は夜9時まで済ませて下さい。		食事:朝から絶食です 水分:朝8時まで少量可		手術まで絶食です。	麻酔が十分に覚めれば水分摂取可。夕食より普通食が開始になりますが、看護師が確認するまではお待ちください。		普通食。場合によっては治療食。	
留置物						点滴終了後、点滴の針を抜去します。			
看護	喫煙される方へ:肺合併症を起こす原因になりますので手術前は禁煙して頂くようお願い致します		病棟オリエンテーションを行います。主治医より手術についても説明があります。(外来で済んでいる場合はありません)看護師から手術の流れについて説明します。手術承諾書の確認も行います			麻酔が十分覚醒すればトイレに歩いていただきます。手術後初めての排尿を看護師が確認させていただきます。		状態によって看護師により体を拭くか、シャワーに入っております。	
観察					前日内服の下剤の反応便を確認します。血圧など全身状態のチェックをします。	麻酔の覚醒状態を観察します。血圧など全身状態や、創の状態を観察します。		創の状態や全身状態を観察します。排便のコントロールができていないか観察します。	退院後の生活。 ①便秘予防に努めて下さい。(適度な運動・正しい食生活。) ②創部の発赤・熱感・腫れ・高熱があれば受診して下さい。
教育・説明	持ち物:前あきのパジャマ このほか「入院ご案内」を参考にご準備下さい。 手術時間:手術の時間は入院後ご確認下さい。				排尿を済ませたあと、眼鏡・時計・指輪・義歯・コンタクトなどは全て外し、前開きのパジャマに着替えます(パンツは可)。	痛みのあるときや、眠れないときはお知らせください。			退院前に次回受診日をお知らせします。

※患者様の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なおご不明な点がございましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。
 ※手術当日のパジャマはフリース素材禁止です。寝衣のレンタルもあります。
 ※腹帯購入をお願いする場合があります。
 ※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリー、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。入院中のお化粧品もご遠慮願います。

